

資料紹介

上甲米太郎関係資料目録―植民地朝鮮での教員の日記―

辻 大和・富澤 萌未

一 資料の概要

上甲米太郎氏は植民地朝鮮において公立学校で教員を務めていた人物である。経歴については高麗博物館編『上甲米太郎・植民地・朝鮮の子どもたちと生きた教師』（大月書店、二〇一〇年）に詳しいが、一九〇二年に現在の愛媛県八幡浜市に生まれ、一九一九年に大洲中学校卒業後、一九二一年に京城高等普通学校附設臨時教員養成所を卒業した。一九二二年に慶尚南道咸安公立普通学校に赴任し、その後一九二四年に同治炉公立普通学校訓導兼校長、一九二七年に同昆明公立普通学校校長を歴任した。しかし一九三〇年に治安維持法違反の容疑で逮捕され、裁判で懲役二年、執行猶予五年の判決を受けた。出獄後一九三八年より京城日報社記者、一九四一年に北海道・太平洋炭鉱に勤務し、その後福岡・三井三池炭鉱に配置転換するも一九四九年に解雇された。一九八七年に没した。研究所では二〇〇三年に上甲米太郎氏の遺族、上甲伊利一氏より関係資料を寄託された。保管の資料は目録の通りであり、一九二〇年代の日記、戦後の書簡、パンフレットが中心である。一九二〇年代の日記の内容について

ては青木敦子氏により紹介が行われている（青木敦子「ある日本人の朝鮮体験…『上甲米太郎日記』史料紹介」『東洋文化研究』八、二〇〇六年三月）。

二一 これまでの経緯

受入の経緯については吉沢佳世子「在朝日本人教師・上甲米太郎の日記と関連史料」『日本植民地研究』一六、二〇〇四年に詳しい。当資料は二〇〇〇年に吉沢佳世子氏が上甲米太郎氏の遺族、上甲伊利一氏に連絡をとったことが発端となつて、吉沢氏や辻弘範氏（前東洋文化研究所助手）による交渉が行われ、二〇〇三年に東洋文化研究所に保管することになったものである。そして、二〇〇三年から二〇〇四年にかけて大学教員や大学院生を中心に「『上甲日記』を読む会」が開かれ、資料に対する検討が行われた。

その後諸般の事情により、目録の公開が行えずにいたが、二〇一四年度に至つて目録刊行の準備が整い、ご遺族から公開の同意が得られたため、ここに目録を公開する次第である。

三 利用にあたって

利用の制限：日記資料、書簡資料の大半は資料保存の観点から、研究所内でのデジタル画像による閲覧になる。資料原本の閲覧は原則として許可されない。利用にあたっては事前の問い合わせが望ましい。

請求の方法…封筒番号により可能である。

引用する場合の資料名…「上甲米太郎関係資料」学習院大学東洋文化研究所。

(以上、辻大和)

四 目 録

㊦ 目 録

連番 番号	封筒 番号	形態	資料名	年代		数量	作成主体	備考
				開始	終了			
1		日記	〔日記〕 教育 山口・植田先生	大正十一年七月十一日	大正十一年八月十二日	1冊	上甲米太郎	京城高等普通学校教員養成所時代の日記
2		日記 〔日記-一部〕		昭和三年十二月二十四日	昭和四年一月二十七日	1冊	上甲米太郎	表紙紙と前半部分、欠あり
3		日記	〔日記〕 魂の香	大正十一年十月九日	大正十二年一月十五日	1冊	上甲米太郎	佐賀県芳谷病院からの書簡が挟まる
4		日記	〔日記〕 人間味は？	大正十二年一月二十八日	大正十二年六月十五日	1冊	上甲米太郎	他の日記が混入の可能性あり
5		日記	〔日記〕 LOVE	大正十二年八月二十六日		1枚	上甲米太郎	表紙紙のみ
6		日記	〔日記〕 兵隊さん 空軍 望	大正十三年四月一日	大正十三年六月十五日	1冊	上甲米太郎	後半部分、裏表紙、欠あり
7		日記	〔日記〕 兵隊さん 空軍 実？	大正十三年六月十六日	大正十三年七月十七日	1冊	上甲米太郎	後半部分、裏表紙、欠あり
8		日記	〔日記〕 兵隊さん あめ	大正十三年七月一日	大正十三年七月十七日	1冊	上甲米太郎	
9		日記	〔日記〕 兵隊さん 陸隊のまえ あと	大正十三年七月十八日	大正十三年八月七日	1冊	上甲米太郎	
10		日記	〔日記〕 校長先生 I 山人りの巻	大正十三年九月一日	大正十三年十月三十一日	1冊	上甲米太郎	
11		日記	〔日記〕 みごころのままに	大正十四年一月二十八日	大正十四年三月十九日	1冊	〔上甲米太郎〕	ノートに書法
12		日記	〔日記〕 舟遊	大正十四年三月二十日	大正十四年七月十四日	1冊	上甲米太郎	
13		日記	〔日記〕 山を出でて 又山へ	大正十四年七月十八日	大正十四年九月二十三日	1冊	上甲米太郎	
14		日記	〔日記〕 山の人生 鬼が出るか 蛇が出るか	大正十四年九月二十四日	大正十四年十一月四日	1冊	上甲米太郎	
15		日記	〔日記〕 あこむけの哲学 ねんまつからねんしえ	大正十四年十二月十七日	大正十五年二月七日	1冊	上甲米太郎	
16		日記	〔日記〕 アマビエフナツカガ オトナニナツツテ	大正十五年二月七日	大正十五年四月二十五日	1冊	上甲米太郎	
17		日記	〔日記〕 つい、おく	大正十五年四月二十五日	大正十五年七月十九日	1冊	上甲米太郎	
18		日記	〔日記〕 山の冬	大正十五年十一月四日	昭和二年一月一日	1冊	上甲米太郎	
19		日記	〔日記〕 山を出でて I	昭和二年四月二十七日	昭和二年六月六日	1冊	上甲米太郎	
20		日記	〔日記〕 山を出でて II 新しい自己をもとめて	昭和二年六月六日	昭和二年八月二十五日	1冊	上甲米太郎	
21		日記	〔日記〕 後編あこむけの哲学 ひげをそつて	昭和二年八月二十六日	昭和二年十二月十四日	1冊	上甲米太郎	
22		日記	〔日記〕 彼をめぐる三人の女	昭和二年十二月十五日	昭和三年二月九日	1冊	上甲米太郎	
23		日記	〔日記〕 更生	昭和三年二月十七日	昭和三年五月二十三日	1冊	上甲米太郎	

24	日記 (日記) 冊 A・冊 B	(昭和三年九月五日)	(昭和三年九月二十七日)	2 綴	上甲米太郎	冊 A は、九月五日～九月十一日、冊 B は九月十二日～九月二十七日、冊 A と冊 B はつながっていない、年代は推定
25	日記 (日記)	昭和三年十月十三日	昭和三年十一月二十五日	1 冊	上甲米太郎	表裏紙欠
26	日記 (日記) 冬	昭和三年十一月二十六日	昭和三年十二月八日	1 冊	上甲米太郎	後半部分・裏表紙欠、頁に乱れあり
27	日記 (日記)	昭和四年二月二十八日	昭和四年三月十九日	1 冊	上甲米太郎	表裏紙欠ともに欠
28	日記 (日記) 新井路血	昭和四年二月二十日	昭和四年三月十九日	1 冊	上甲米太郎	
29	日記 (日記) 新作路ほか一冊	昭和四年三月二十日	昭和四年五月七日	2 冊	(上甲米太郎)	ノートに書込、一冊は年不明であるが、八月十二日～九月四日まで書かれる、高麗博物館の封筒に入る
30	日記 (日記)	昭和四年八月一日	昭和四年八月九日午前二時	1 冊	上甲米太郎	表裏紙欠ともに欠
31	日記 (日記-一部)	七月一日	七月三十一日	1 冊	上甲米太郎	後半部分・裏表紙欠、年不明、昭和四年か? 打附ノート
32	日記 (日記-一部)	不明		1 枚 + 1 本	上甲米太郎	サラの頁1枚、背中リボン1本
33	日記 (日記-一部)	不明		2 枚	上甲米太郎	表裏紙のみ、打附ノート
34	日記 (日記) 私のこと 人のこと	不明		2 枚	上甲米太郎	表裏紙と1枚目(白紙)のみ、本文(日記一部)内に紛れている可能性あり
35	日記 (日記-一部)	年不明十二月十三日	年不明十二月二十二日	2 枚	上甲米太郎	
36	日記 (日記-一部)	年不明一月二十九日	年不明二月二十二日	1 綴	上甲米太郎	
37	日記 (日記) ・写 真	九月二十八日	十月二十二日	1 冊 + 1 枚	(上甲米太郎)	打附ノート、写真1枚
38	日記 (手帳) 昭和三十七年	昭和三十七年一月一日	昭和三十八年一月五日	1 冊	(上甲米太郎)	フカハタ日記昭和三十七年版、ネガ1枚、切手2枚採まる
39	手帳 (手帳) 昭和三十九年	昭和三十九年一月一日	昭和四十年一月二日	1 冊	(上甲米太郎)	フカハタ日記昭和三十九年版、米太郎書1枚、診療券1枚、領収書1枚、名刺1枚、新聞切抜3枚が採まる
40	手帳 (手帳) 昭和四十四年	昭和四十四年一月一日	昭和四十四年七月三十一日	1 冊	(上甲米太郎)	郵屋の手帳昭和四十四年版
41	手帳 (手帳) 昭和四十五年	昭和四十五年		1 冊	(上甲米太郎)	あかつき印刷手帳昭和四十五年版、書込なし

42	手帳	〔手帳〕 昭和四十七年	昭和四十七年		1冊	〔上甲米太 邸〕	あかつき印刷手帳昭和四十七年 版、書込なし
43	命令 書	〔辞令書〕 任陸軍歩兵軍曹	大正十一年三月三十一日		1枚	陸軍省	
44	認定 証書	〔認定証書〕 太平洋戦線訓練所産業報国会産 業体育指導者資格	昭和十七年十二月八日		1枚	北海道産業 報告会会長 坂千枝	
45	子書 調書	〔子書調書〕 昭和六年京城地方法院	昭和六年六月二十四日	昭和六年八月七日	1綴	京城地方法 院	表紙紙、前半部分4枚はかたあ り
46	コピー	上甲米太郎関係資料のコピー	不明		1綴	不明	フタイルで綴じられる、厚さ 1.8cm
47	コピー	上甲米太郎関係資料のコピー	不明		1綴	不明	フタイルで綴じられる、厚さ 3.0cm
48	雑誌 複製 本	新興教育 1	不明		1冊	〔新興教 育〕複製版 発行委員会 会〕	〔新興教育〕 第一巻第一号から第 一巻第三号までの複製版
49	雑誌 複製 本	新興教育 2	不明		1冊	〔新興教 育〕複製版 発行委員会 会〕	〔新興教育〕 第一巻第四号から第 二巻第二号までの複製版
50	雑誌 複製 本	新興教育 3	昭和四十年十二月二十日		1冊	〔新興教育〕 複製版発行 委員会	〔新興教育〕 第二巻第三号から第 二巻第六号までの複製版
51	雑誌 複製 本	新興教育 4	昭和四十一年一月二十五 日		1冊	〔新興教育〕 複製版発行 委員会	〔新興教育〕 第二巻第七号から第 二巻第九号（昭和六年十月一日 発行）までの複製版
52	雑誌 複製 本	新興教育 5	昭和四十一年二月二十五 日		1冊	〔新興教育〕 複製版発行 委員会	〔新興教育〕 第二巻第九号（昭和 六年十二月二十四日発行）から 第三巻第一号までの複製版
53	雑誌 複製 本	新興教育 9	昭和四十二年七月五日		1冊	〔新興教育〕 複製版発行 委員会	〔新興教育〕 第九巻の複製版

連番	封筒番号 親 枝	形態	資料名	年代		数量	作成主体	備考
				開始	終了			
1	7	雑誌	新興教育	昭和八年六月二十一日		1冊	新興教育同盟準備会	新興教育同盟準備会機関誌
2	8	雑誌	「新興教育」複製版月報第一号	昭和四十年十月十五日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会	
3	9	雑誌	「新興教育」複製版月報第三号	昭和四十二年十二月二十五日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会	
4	10	雑誌	「新興教育」複製版月報第四号	昭和四十一年二月二十五日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会	
5	11	雑誌	「新興教育」複製版月報第五号	昭和四十一年二月二十五日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会	
6	12	雑誌	「新興教育」複製版月報第六号	昭和四十四年四月二十五日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会	
7	13	雑誌	新興教育複製版全七巻月報No.8	不明		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会	
8	14	雑誌	教育運動史研究第七号 「新興教育」複製版月報改題	昭和四十一年九月一日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会兼新	
9	15	雑誌	教育運動史研究第八号 「新興教育」複製版月報改題	昭和四十一年十一月一日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会兼新	
10	16	雑誌	教育運動史研究第九号 「新興教育」複製版月報改題	昭和四十二年八月十日		1綴	「新興教育」複製版刊行委員会兼新	
11	17	雑誌	教育運動史研究 第十五号	昭和四十八年九月一日		1冊	教育運動史研究会	
12	18	発表要項	教育運動史研究会第八回夏季研究集会発表要項	不明		1綴	教育運動史研究会	大会テーマ「国民の教育権と教育運動史」1973年8月24～25日 京・東京大
13	19	雑誌	全日本教員組合準備会報第一号	昭和五年六月十日		1枚	全日本教員組合準備会	
14	20	雑誌	大塚学友会会報第二号	昭和五年十一月二十九日		1綴	大塚学友会	
15	21	趣意書	東京教員消費組合創立趣意書	昭和四年十月		1枚	東京教員消費組合	
16	22	書籍の帯	日本生産党中央機関紙「赤旗」複製版全四巻の帯	不明		1枚	(三一書房)	
17	23	調査研究報告書	調査研究「全協・日本一般使用人組合・教育労働部書記高橋健誌」[題詞：一般使用人・教育労働者版]にみる。戦前の教育労働運動の活動実態	昭和四十八年六月		1綴	岡本洋三	

18	24	雑誌	建路ニユース No.24	昭和四十三年二月十三日		1級	J.R.P 組織部	日本リテラティブ写真集団(J.R.P)の会報
19	25	雑誌	民研レポート 68 教育を国民とともに	昭和四十四年一月十日		1冊	国民教育研究所	
20	26	雑誌	歴史地理教育一六六号	昭和四十一年十一月十日		1冊	歴史教育者協議会	
21	27	抜刷	新藤東洋男「新撰教育と在朝日本人教師の闘い」(『歴史地理教育』一六六号、昭和四十一年十一月)の抜刷	不明		2級	不明	
22	28	雑誌	歴史評論一九八号(昭和四十二年二月号)	昭和四十二年二月一日		1冊	民主主義科学者協会歴史部会	
23	29	抜刷	榎本寿男「新藤東洋男・池上親春共著日本帝国主义の植民地教育と闘った在朝日本人教師の闘いの記録」上甲米太郎と「新撰教育」教育者労働組合運動事件(九三〇)(『歴史評論』一九八号、昭和四十二年二月)の抜刷	不明		2級	不明	
24	30	雑誌	朝鮮研究六七号(昭和四十二年十一月号)	昭和四十二年十一月十五日		1冊	日本朝鮮研究所	
25	31	名簿	愛媛県立大洲高等学校同窓会会員名簿昭和四十五年版	昭和四十五年十一月		1冊	愛媛県立大洲高等学校同窓会	
26	32	名簿	財団法人服水喜喜多同郷会会員名簿	昭和五十九年三月末		1冊	財団法人服水喜喜多同郷会	
27	38	書籍・メモ・写真	【書籍・メモ・写真】	昭和四十一年四月九日	昭和四十一年七月七日	2通+2枚+1枚+1枚	〔上甲米太郎〕	書籍2通、写真2枚、メモ1枚、紙片1枚
28	39	書籍コピー	【書籍コピー】上甲米太郎	昭和四十九年一月		3枚	上甲米太郎、中谷清	
29	40	書籍コピー	【書籍コピー】上甲米太郎	昭和六十二年十二月二十九日		4枚	政田与志雄	上甲米太郎宛
30	41	書籍・書籍コピー	【書籍・書籍コピー】上甲米太郎	昭和三十七年十一月二十七日	昭和三十七年十一月二十九日	1通+1枚	井野川潔	上甲米太郎宛
31	42	書籍	【書籍】上甲米太郎	昭和四十二年十一月十日		1通	兼森勘次	上甲米太郎宛
32	43	書籍	【書籍】未開封、上甲米太郎	不明		1通	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟	上甲米太郎宛、会費納入額在中
33	44	書籍	【書籍】未開封、上甲米太郎	昭和六十一年十月二十日		1通	東京解放運動旧友会	上甲米太郎宛
34	45	書籍・書籍コピー	【書籍・書籍コピー】、上甲伊利一	平成十一年九月三日	平成十六年五月十五日	9通+2枚	岡野正	上甲伊利一宛

35	46	書籍	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十五年五月九日	平成十五年五月十三日	2通	小野淳信	上甲伊利一宛
36	47	書簡	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十一年十二月三十日	平成十二年二月十三日	2通	松本成美	平成十二年二月十三日の書簡には写真が12枚が同封
37	48	書簡	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十年三月二十七日	平成十六年一月十三日	4通	山村好克	上甲伊利一宛
38	49	書簡	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十二年三月十四日		1通	井上薫	上甲伊利一宛
39	50	1 書籍	〔書簡〕 上甲伊利一	平成八年十一月二十四日		1通	園部裕之	上甲伊利一宛
40	50	2 書簡	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十二年一月三十日		1通	園部裕之	上甲伊利一宛
41	50	3 書簡	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十二年十月十二日		1通	園部裕之	上甲伊利一宛
42	50	4 書簡	〔書簡〕 上甲伊利一	平成八年十一月十二日		1通	園部裕之	上甲伊利一宛
43	50	書籍	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十四年十月四日		1通	井上学	上甲伊利一宛
44	51	書籍	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十六年六月二十二日		1通	晋州会事務局 清水和夫	上甲伊利一宛、写真1枚同封
45	52	書籍	〔書簡〕 上甲伊利一	平成十年四月一日		1通	青年劇場友の会	上甲伊利一宛、葉書
46	53	書籍	〔書簡〕 上甲伊利一	平成四年六月十九日		1通	日朝協会 吉田寛	上甲伊利一宛
47	54	原稿	川之内上甲の祖を求めて	平成八年十一月二十五日	平成八年十一月二十八日	1綴	上甲伊利一	南海日日新聞原稿
48	55	1 原稿	上甲米太郎の生涯—息子から見た人間像—	平成八年十二月十一日	平成九年一月二十二日	1綴+3枚	上甲伊利一	南海日日新聞原稿、斎間謙との書簡が3枚
49	55	2 原稿コピー	上甲米太郎の生涯—息子から見た人間像—	不明		9枚	上甲伊利一	南海日日新聞原稿のコピー
50	55	3 原稿コピー	上甲米太郎の生涯—息子から見た人間像—	不明		26枚	上甲伊利一	南海日日新聞原稿のコピー
51	56	新聞記事コピー	南海日日新聞（平成九年四月二十九日）の記事のコピー	不明		3枚	不明	南海日日新聞原稿のコピー
52	58	パソコンプリント	梶村秀樹著作集	不明		1綴	〔明石書店〕	
53	59	書籍	梶村秀樹著作集第一巻 朝鮮史と日本人	平成四年十一月三十日		1冊	梶村秀樹著作集刊行委員会・編集委員会	

54	60	雑誌	朝鮮問題について	平成五年十一月	1冊	在日本朝鮮人総聯合会	
55	61	雑誌	治安維持法と現代 No.7 二〇〇四年春季号	平成十六年四月二十日	1冊	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟	
56	62	1	梶村秀樹、尹健次の論文のコピー	不明	1綴	不明	フアイルで綴じられる
57	62	2	梶村秀樹、尹健次の論文のコピー	不明	1綴	不明	フアイルで綴じられる
58	63	資料	金崎老事件資料のコピー	不明	1綴	不明	フアイルで綴じられる
59	64	資料	上甲米太郎と太平洋炭鉱 朝鮮人労働者の労働係として	平成十二年二月十二日	1綴	不明	かさぎの会第六十八回例会資料
60	65	資料	山村好寛「地域史の歴史の掘り起こしと教材化—在朝日本人教師 上甲米太郎—」のコピー	不明	1枚	不明	
61	66	資料	三井鉱山の朝鮮人労働係・上甲米太郎の回想のコピー	不明	1綴	不明	
62	67	資料	思想月報第二巻第七号(昭和七年十月十五日)のコピー	不明	3枚	不明	
63	68	資料	大正十二年二月万国基督教者同盟招待シブニー・キユリツク博士夫妻来訪時の写真のコピー	不明	1枚	(真山純基)	上甲伊利一氏のメモによると、写真のコピーをしたのは「鶴山氏ご子息」とある
64	69	資料	上甲米太郎官庁資料のコピー	不明	3枚	不明	
65	70	写真のネガ	米太郎の生涯 予備調査写真	平成九年一月二十八日	12コマ	不明	
66	71	資料	『八幡浜市誌』(慶子社、昭和六十二年)のコピー	不明	1綴+1枚	不明	二二六頁～二四一頁
67	72	雑誌	喜多青年第四十一号	平成十一年三月三十一日	1冊	財団法人脈水會喜多同郷会	
68	73	名簿	財団法人脈水會喜多同郷会会員名簿	平成十一年三月三十一日	1冊	財団法人脈水會喜多同郷会	
69	74	書簡	〔書簡〕上甲伊利一、上甲壮二	昭和五十四年八月七日	平成十一年九月十一日 2通	愛媛県立大洲高等学校 瀧田泰一から上甲壮二宛、財団法人脈水會喜多同郷会から上甲壮二宛のものか、上甲壮二から上甲伊利一宛の封筒に入る	欄別誌「喜多青年」第四十二号 寄稿の依頼

70	雑誌	『朝鮮研究』五三号（昭和四十一年八月）、五四号（昭和四十一年九月）、六四号（昭和四十二年八月）、七九号（昭和四十三年十一月）	昭和四十一年八月十五日	昭和四十三年十一月十五日	4冊	日本朝鮮研究所	
71	ガイド・パンフレット・絵葉書	祖国解放戦争記念章、革命機鉄地帯チラシ、抗日武裝闘争国内重要機鉄地帯教育運動史研究第九号『新興教育』複製版目録改題（昭和四十二年八月）、最近の日本問題No.19（昭和四十八年十二月）、日本と朝鮮第五一号（昭和六十一年十一月）、高麗神社と高麗郷（昭和四十九年八月重版）、各1宗1	昭和四十四年 昭和四十二年八月十日	昭和四十五年十一月一日	4冊 4冊＋1綴	チョンソク民主主義人民共和国・ピョソクソク外国文出版社	
72	雑誌・書籍・教科書	『社会科』学研究第三三三号（平成九年七月）、外領領・就職差別裁判資料集No.4証言集3差別の武器としての戸籍・本籍制度（昭和四十八年十二月）、年表・1930年代教員運動（平成十一年八月）	昭和四十八年十二月八日	平成十一年八月	3冊	不明	
73	雑誌・資料・年表	米太郎関連文庫・資料のコピー	不明		7綴＋2枚＋1冊	不明	
74	資料		平成八年十二月三日		1通	山村好克	上甲伊利一宛
75	書簡	〔書簡〕上甲伊利一	平成十二年十二月三十一日		1通	山村好克（八幡浜市立愛宕中学校）	封筒のみ
76	書簡	〔書簡〕上甲伊利一	不明		1袋	不明	袋に入る
77	書簡	〔書簡類〕					

（以上、富澤萌未）

